

風土記の丘の花だより¹⁷⁸

今、そしてこれから見られる植物(2023年3月25日)

咲き始める花の種類と数が、日一日と増えていく季節です。どんどん紹介していきたいと思います。サクラがきれいに咲き誇っています。今はソメイヨシノ、ヤマザクラが美しいですね。オオシマザクラは駐車場周辺で満開です。金龍大神周辺のエドヒガンは22日に見事な満開でした。これからはサトザクラの仲間や山に咲くカスミザクラが楽しみです。



万葉植物園ではサクラによく似たスモモの花が咲いています。でもこれをご覧になるころには「咲いていました」という過去形になっているかもしれませんね。スモモは漢字で「李」と書き、ことわざの「李下に冠を正さず」の李です。スモモの木の下で冠をかぶりなおすとスモモを盗って隠したと疑われるぞ、そんな誤解を招くような振る舞いは慎みなさいという意味ですね。(昔、漢文で習いました。覚えているのは、これだけです。) 咲いている期間は短いです、真っ白できれいな花です。



春を告げる草花の一つタチツボスミレが咲いています。普通の道端のすみれよりも色が淡く葉も丸っこいです。これからの季節、園路を歩くといろいろなスミレを見ることができます。赤っぽい、白い、葉に斑の入っているものなど、立ち止まって見てみると、それぞれに特徴があることがわかります。どれが何という名前のスミレかわからなくても「スミレにもいろいろあるんだなあ」と気づくだけで十分だと思いますよ。もちろん興味のある方は、なにスミレなのか、調べてみてください。



フェンスや木の枝などに巻き付いたアケビが花を咲かせています。写真は雄花です。近くにひときわ大きな花が咲いているとそれは雌花です。花の中を覗き込んでみると、作りの違いがわかります。これは5枚一組の葉をつけるアケビですが、もうしばらくすると、3枚一組の葉をつけるミツバアケビもえび茶色のような色の花を咲かせることでしょう。



ムラサキケマンも咲き始めています。道沿いにも生え、色も派手で、背も高く20センチほどあるので、とてもよく目立ちます。ケマンは漢字では難しく「華鬘」と書き仏教用語で、仏堂の荘厳具のことだそうです。(と言われてもイメージできませんが) 似ているのは花なのでしょう、葉なのでしょう。難しいことは考えずに、この花の美しさを愛でることにいたしましょう。まだまだたくさんの春の花が咲いています。いい季節になりました。 松下